科目ナンバリング	U-LAS05 20033 LJ31						
授業科目名 <英訳>	朝鮮・韓国学入門 Introduction to Korean Studies			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　教授　　吉井　秀夫 文学研究科　教授　　千田　俊太郎		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

朝鮮半島の文化や歴史への関心を深めるために、担当教員がそれぞれの専門分野においてトピックとなるテーマを選んで講義をおこなう。朝鮮・韓国に関する教養的な知識だけでなく、その文化・歴史に対する見方を考え直すきっかけとなるようにしたい。

[到達目標]

具体的な研究テーマ・トピックを通して、朝鮮・韓国の文化・歴史に対する基礎知識を身につけると共に、諸問題についての理解を深める。

[授業計画と内容]

２人の担当教員が、テーマごとにそれぞれ２～３回の授業を行なう。

１　ガイダンス（吉井）
２～４　朝鮮半島の地理・気候・歴史（吉井）
５～７　朝鮮半島の言語と文字（千田）
８～10　古代における朝鮮と日本（吉井）
11～12　植民地支配と文化財問題（吉井）
13～14　現代における朝鮮半島の諸問題（吉井）
15　定期試験
16　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（出席と参加の状況および毎回課する小レポート、約60%）、および定期試験（筆記、約40%）で評価する。定期試験（筆記）では自筆ノート、配布資料のみ持込を認める。詳細は講義中に説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

本講義は、２～３回ごとにテーマが変わる。テーマごとに関心をもった点について、各自さらに理解を深めていただきたい。また本講義は、受講者が東アジアを中心とする言語学・歴史学・考古学についての最低限の知識・関心をもっていることを前提として進めていくことに留意すること。

[その他（オフィスアワー等）]

講義の進め方など全般的な注意点について説明するため、受講希望者は第１回目のガイダンスに必ず出席すること。